

<校訓>
高志共生



大庄中学校
H25 年度第 3 号
(H25. 4. 22・月)

クラブに入きましょう

先々週の金曜（12日）に、1年生向けのクラブ紹介がありました。
4月中は仮入部期間です。「入部届」を提出しない限り、どのクラブを見学するのも参加するのも自由です。どのクラブに入るか迷っている人は、入部の時期が少し遅くなっても大丈夫ですから、よく考えてどのクラブに入るか決めてほしいと思います。

さまざまな意義がある「クラブ」

部活動（クラブ）は、「教育課程外の活動」で、放課後や休日の活動が主となりますが、学校で、大きな役割を果たしてきました。これまで、共通の目標や興味・関心を持つ仲間と一緒にスポーツや文化・芸術などの活動を通して、よりよい人間関係ができる、友達・先輩・後輩などとコミュニケーションづくりができる、体力向上や健康増進に役立つ、礼儀正しさや挨拶が身につく、集団や組織づくりの経験ができる、規則正しい生活が送れる、人格形成や社会性の涵養に役立つ、連帯感や責任感が身につく、身体感覚や感性が磨けるなど、さまざまな教育的効果や意義が認められてきました。中学生や高校生の時の「クラブ」が学校生活の一番の思い出になったり、学校を卒業してからも趣味として活動を続けているという方も、たくさんいらっしゃいます。



平成24年度から完全実施となった学習指導要領で、部活動は、「学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるように留意すること」と示され、現在は、学校教育活動の一環と位置づけられました。



しかし、残念ながら、かつては、体罰や勝利至上主義など、行き過ぎた指導があったことも否めません。また、教師の側からは、放課後や休日の指導が主であることから、部活動の指導に時間やエネルギーを取られ授業や校務など本来の教育活動に支障が出る、専門的な指導ができる教員の不足や異動等による継続的な顧問の確保が難しくなっている、少子化や価値観の多様化などによる部員数の減少や入部率が低下しているなど、運営上のさまざまな課題があるのも事実です。

学級数が少なく教員数の少ない本校は、クラブの数も少ないのですが、幸いにも、本年度は、副顧問や会計顧問などを含め、ほぼ全教員が部活動の顧問として関わる体制になりました。できるだけ多くの生徒がクラブに入部してくれて、有意義に放課後の時間を過ごしてくれることを望みます。

【25年度顧問一覧】

野球	松田 慎吾 根本 哲郎	サッカー	小寺山道久
男子ソフトテニス	杉本 盛彦	女子ソフトテニス	株本 隆彦 生駒 尚子
男子バスケットボール	藤岡 卓司	女子バスケットボール	濱 良樹 川脇いずみ
女子バレーボール	大西 良子 好川 裕信	女子バドミントン	南口 久美 鳥丸 綺香
剣道	佐々野俊弥 柴田ゆみか	吹奏楽	延澤 遥子 玉村 智代
美術	寺本 義一	家庭科	池本 敦子 塩田 鈴美
水泳	藤原 邦章 渡邊美奈子 多田 渚		

（水泳は、本校にクラブはありませんが、中体連主催大会のエントリーと引率のみ行います）

中学校弁当で栄養バランスのとれた昼食を

昨年の10月から、本校を含む市内3中学校で中学校弁当の販売が始まっています。25年度は、新たに5校で販売が始まり、27年度中に市内全中学校で実施予定となっています。

成長期の中学生に欠かせない栄養の観点や、近隣の市町で中学校給食をという動きが出ていることなどから、尼崎市の中学校にも給食をという声があります。しかし、尼崎市は児童生徒の安全確保のため、平成27年度中の全市小中学校施設の耐震化率100%を目標とし、耐震補強工事を緊急の課題として取り組んでいます。耐震補強工事の完了後は、全市の課題である学力向上のため、快適な学習環境を提供することが必要ということから、全小中学校にエアコンを完備するという計画があります。財政難の尼崎市としては、中学校での給食導入に際しては、何十億円という初期費用や毎年の必要経費がかかることもあり、当面は、ほとんどの家庭にご協力いただいている、手作り弁当と中学校弁当を推進し、まずエアコンの設置を優先させ、その次に給食の検討を進めたいとの方針です。

中学生の昼食については、23年度に実施した昼食に関するアンケート調査で、市内の中学生の約70%が家庭からの手作り弁当を毎日持参し、週4日以上持参率も90%以上ということがわかりました。しかし、弁当を持参しない日の昼食は、約78%が菓子パン、約14%がおにぎり、ということもわかりました。



炭水化物だけのパン昼食ではなく「中学校弁当」を

私たちのからだに必要な栄養素としては、からだをつくる「タンパク質（主に筋肉）」や「カルシウム（骨や歯）」、からだの調子を整える「ビタミン」や「無機質」、エネルギー源になる「炭水化物」や「脂質」の6つの基礎食品群があります。また、主食（ご飯、パン、麺など）、副菜（野菜、キノコ、いも、海藻など）、主菜（肉、魚、卵、大豆など）、牛乳・乳製品、果物をバランスよく食べることも大事です。

パンだけの昼食は、主食だけの片寄った食事で、栄養素としては「炭水化物」だけを摂取していることとなります。成長期のからだづくりとしては、とても片寄った食事で心配です。

中学校弁当の販売は、当日の申込みができないという不便さがありますが、家庭の事情などで弁当を持参できなくて、やむを得ず菓子パンなどで昼食をすませている中学生の昼食改善と子育て支援という観点で始まったものです。成長期の中学生の身体と健康のために、ご家庭から弁当を持参できない日は、栄養バランスの取れた中学校弁当を活用していただけたらありがたいと思っています。

（文責：校長 福井 隆夫）